

自動火災報知設備用予備電源（鑑定品）の変更について

About Change of the Standby Power Supply for Automatic Fire Information Equipment

当社の円筒密閉形ニッケル・カドミウム蓄電池（コラム電池）は、主に火災報知設備用予備電源（以下「予備電源」という）として、停電などの非常時に電力を供給するバックアップ電源として使用されています。この予備電源は、従来「鑑定品」と呼ばれ、火災報知設備に係わる技術上の規格との適合性を判断するための型式適合評価に合格した蓄電池です。

消防法の一部を改正する法律等の施行に伴い、平成25年4月1日より、鑑定業務規定から受託評価業務規定へ変更となり、「鑑定品」が「受託評価適合品」となりました。これにより、型式番号の変更（鑑字第〇〇～〇〇号→品評字第〇〇～〇〇号）と、合格証票のデザインが新しくなりました。

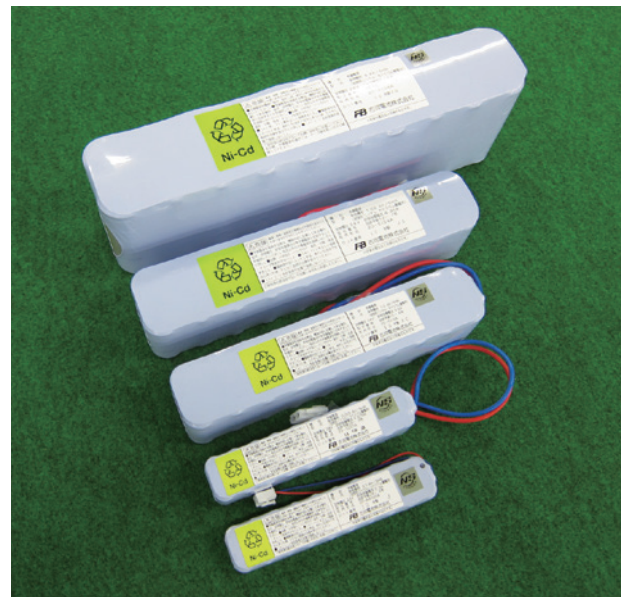
現在、顧客が使用している設備には「予備電源には鑑定品を使用してください」などと表示されているため、鑑定品しか使用できないものとなっています。

鑑定品から受託評価適合品への更新をスムーズに行うため、定格銘板に「※従来の鑑定品と同等のものです。」と表示しました。


今回の施行による予備電源の構造及び性能についての変更はありませんので、従来の鑑定品と同様に受託評価適合品を使用できます。

受託評価適合品の一例

型式	容量 (Ah/5HR)	電圧 (V)	型式番号	当社形式
受信機用	0.225	24	品評字第24～3号	20-S201A
受信機用	0.45	24	品評字第12～14号	20-S101A
受信機用	1.2	24	品評字第12～6号	20-S113A
中継器用	1.65	24	品評字第12～10号	20-S104AT
中継器用	6	24	品評字第13～7号	20-S108AT
中継器用	10	24	品評字第14～2号	20-S127AT



受託評価適合品の外観

	<p>危険 漏液・発熱・破裂及び傷害などの原因となる場合がありますので次のことを守ってください。</p> <p>■予備電源を接続する際は、機器内部に記載してある種別、型式、定格電圧、許容放電電流が本予備電源と合致することを確認してください。指定以外の予備電源を接続しないでください。■加熱・火中投入・ハンダ付け・変形・分解・改造・チューブを剥がさないこと。■(+) (-)を正しく接続すること。■電解液が目に入ったときは、きれいな流水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。■(+) (-)を針金等の金属で接続しないこと。</p> <p>ご使用済の節は捨てないで買い求め先にお渡しください。</p>	<p>種別 予備電源 型式 受信機用 0.45 Ah/5HR (密閉形ニッケル・カドミウム蓄電池)</p> <p>定格電圧 24V 許容放電電流 1.35A</p> <p>型式番号 品評字第12～14号</p> <p>社内形式 20-S101A</p> <p>ロット番号 年製</p> <p>FB 古河電池株式会社</p> <p>※従来の鑑定品と同等のものです。</p>
---	---	--



新合格証票

定格銘板レイアウトの一例

産業機器事業本部 産業機器生産統括部
アルカリ電池部 電池技術グループ 鈴木由加